

雨が落ちてきたよ



### エピソード

雨がたくさん降った日。保育室前に屋根を伝った雨水が落ちている場所があることに気付いた子ども達。食品トレーや透明カップ、かき氷を入れる容器などで、雨水を受けてみることにしました。食品トレーを置くと「パチン!」と大きな音が周りに響きました。「(音が)何か違う」と言って耳を傾けたり、聞こえてくる音に合わせて楽しそうに体を動かしたりする姿がありました。かき氷の容器は半透明だったので「いっぱいになってきたね」と溜まっていく様子を見て喜んだり、水が跳ねて容器から飛び出していく水の動きを不思議そうにじっと見たりしました。それぞれが面白さや不思議さを感じ、雨と関わって遊びました。

### 保育者の思い

- ・雨が降り続く季節ならではの遊びを楽しむことで、身近な自然現象に興味をもってほしいと考えました。
- ・様々な視点から雨の面白さを感じられるように、色々な容器を子ども達が手に取りやすいところに用意しました。
- ・同じ場で遊んでいても、子どもが面白さや不思議さを感じることは一人一人違うので、子どもの目線や表情から何を面白いと思っているのかを読み取り、気持ちに寄り添うことで安心して自分を出して遊べるようにしました。

### 子どもの育ちや学び

- ・用具を使うことで音の違いを感覚的に感じ取ったり、水が溜まる様子や水の動きに興味をもったりする姿が見られました。
- ・音に面白さを感じて自分なりに体を動かして表現したり、違いを保育者に伝えようとしたりしました。

### 家庭だったら・・・

生活に身近な雨。お出かけができない億劫な日と捉えるのではなく、あえて雨を使って遊ぶことで、晴れている時には気付かなかった面白いことが見つかるかもしれません。また子どもの様子を保育者にも教えてくださいね。